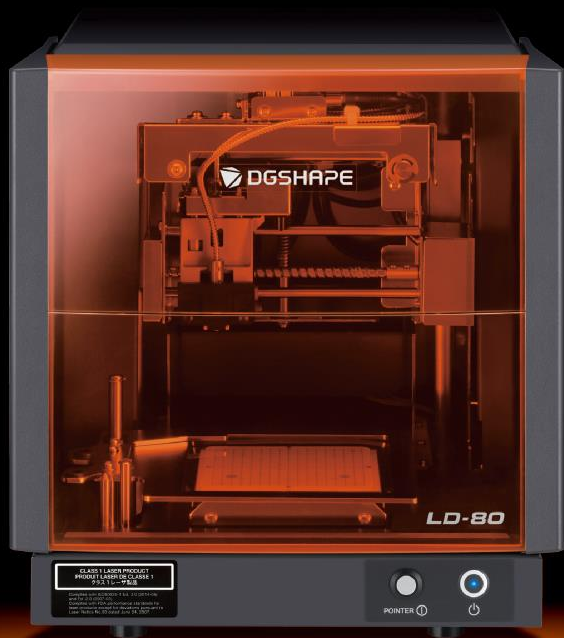


小型卓上レーザー箔転写機

LD-80

- 報道発表資料 -





世界初となる
半導体レーザー箱転写機
LD-80

 DGSHAPE

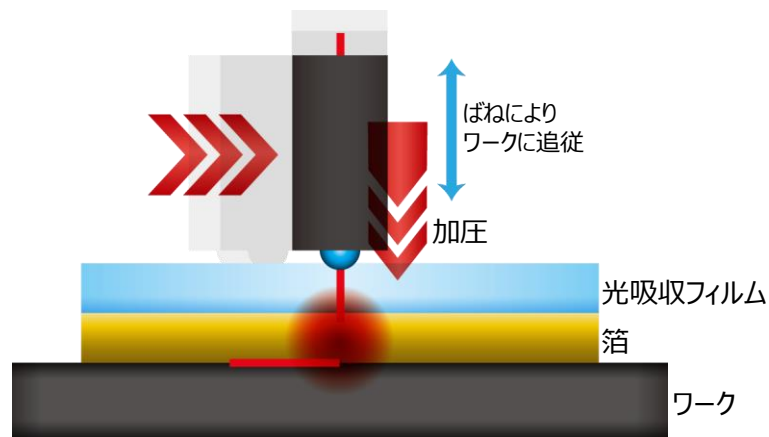
従来方式

箔押しは基本的に**熱**を必要とするのでプラスチックは苦手

従来の箔押しでは困難であったプラスチックへの箔押しを、
半導体レーザー技術を活用することで可能に！

LD-80

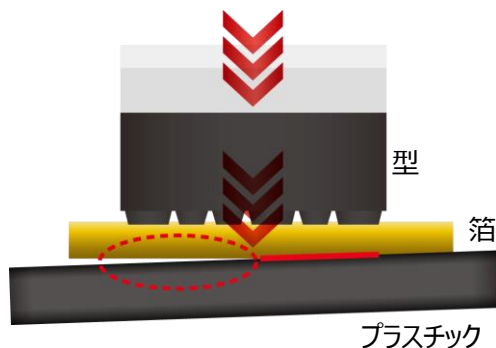
半導体レーザー箔転写方式



レーザー光を制御しピンポイントで箔を加熱する独自技術により、
プラスチックへの箔転写ができるようになりました。

金型を用いる箔押し方式（ホットスタンプ方式）

従来方式 1

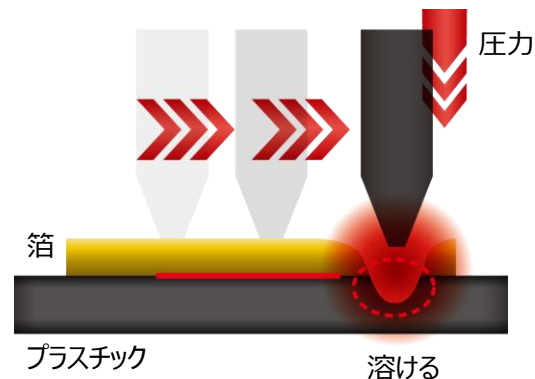


1. 量産向き、オンデマンドには不向き
2. 金型（版）代が必要

ホットスタンプ方式（型押し）では、金型（版）を作成してから箔押しを行うため、量産には向くがオンデマンドには向かない。一般的に金型には高額な投資が必要となる。

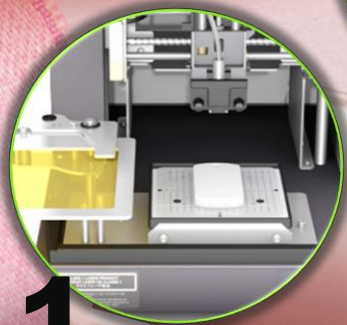
ヒートペンによる箔押し方式

従来方式 2

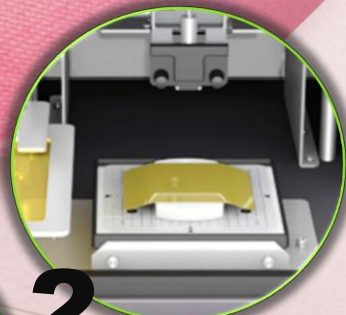


1. 熱が掛かりすぎるため、プラスチックが苦手
2. 革や木など、熱耐性が高い材料が得意

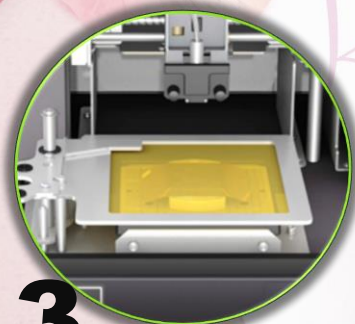
ヒートペンタイプは樹脂（プラスチック全般）に箔押しを行った場合、始終点の位置でワークが溶けてしまう場合がある。



1 材料をセット



2 シートを載せる



3 シートをかぶせる



4 カバーを閉じる



5 出力する

はじめてでもすぐに使いこなせる
簡単6STEP

6 完了





どこでも設置できる、安全設計のコンパクトボディ

店頭での使用はもちろん、各種イベントに手軽に持ち運べるコンパクト設計に世界標準の安全規格準拠

従来方式との比較	ホットスタンプ	サーマル	ヒートペン	LD-80
プラスチック加飾	△	△	×	◎
オンデマンド加工	×	○	△	◎
量産性	○	○	×	×
コンパクトさ	×	△	○	◎
微細表現	△	○	△	◎
使いやすさ	△	△	△	◎
安全性	△	○	△	◎
価格	△	○	○	◎